教科(科目)	家庭総合	単位数	2	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』				
副教材等	東京書籍『家庭総合学習ノート 自立・共生・創造』、教育図書『家庭科55デジタル+』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ (1) 自ら考え、判断し、行動する力、生涯をとおして主体的に学び続ける人材を育成します。 (2) 他者や周囲を尊重し、多様な人々と協調して社会に貢献する力を持つ人材を育成します。 (3) 豊かな感性を備え、社会の一員としてのルールやマナーを大切に育む人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ (1) 生涯を通じて学ぶために、基礎的・基本的な知識・技能の習得などの確かな学力の育成に重点をおき、全ての教科・科目において基礎学力の確実な定着を図ります。 (2) 地域と連携しながら、多様な職業や進路について学び体験する機会を設定し、主体的に進路目標を設定して、その実現に向けて粘り強く取り組む活動を推進します。 (3) 計画的なキャリア教育により、生徒一人ひとりが自己の在り方、生き方を考える機会を提供し、望ましい勤労観や職業観と積極的に進路選択する能力を育成します。

2 学習目標

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
--

3 指導の重点

①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについての基本的知識の習得を目指す。 ②問題点を見いだして課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を育てる。 ③学んだ知識や問題の解決策などについて、発表することを通して表現する力を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・行動観察 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・行動観察 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間	評価方法
1 学期	1章 生涯を見通す 1 人生を展望する	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 目標を持って生きる		2	
	2章 人生をつくる 1 人生をつくる	・DVD「アクティブに学ぼう」を試聴しながらワークシートに取り組み、主体的・対話的に学びを深める。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 家族・家庭を見つめる		3	
	3 これからの家庭生活と社会		2	
	被服製作	基礎縫い練習、作品製作	6	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	2	
	1学期期末考査		1	
2 学期	7章 衣生活をつくる 1 衣生活の役割を考える	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 被服を入手する		2	
	3 被服を管理する	2		
	5 衣生活の文化と知恵	2		
	6 これからの衣生活	2		
	被服製作	エプロン製作	7	
	9章 経済生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。 ・DVD「アクティブに学ぼう」を試聴しながらワークシートに取り組み、主体的・対話的に学びを深める。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 購入・支払いのルールと方法		1	
	3 消費者の権利と責任		1	
	4 生涯の経済生活を見通す		2	
5 家計をマネジメントする	3			
6 これからの経済生活	3			
2学期期末考査		1		
3 学期	8章 住生活をつくる 1 住生活の変遷と住居の機能	・生涯を見通した住生活について考え、住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・持続可能な住居や、地域コミュニティづくり、環境に配慮した住生活について理解する。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 安全で快適な住生活の計画		3	
	3 住生活の文化と知恵	2		
	4 これからの住生活	3		
	4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来	・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。	1	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 高齢期の心身の特徴		2	
	3 高齢者の自立を支える		2	
	4 これからの超高齢社会		2	
	学年末考査		1	

計 70 時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元ごとに、ワークシートと振り返りシートを提出します。
- ・レポート課題、パフォーマンス課題については、適宜提出します。
- ・作品製作についても、期限厳守で提出します。

8 授業担当者からの一言

家庭科の学習は、家庭生活に必要な知識や技術を身につけることに加えて、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習活動です。環境や社会、経済について総合的に考え、SDGsを実践できる態度を身につけて欲しいと思います。

教科(科目)	家庭総合	単位数	2	学年(コース)	2 学年
使用教科書	東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』				
副教材等	東京書籍『家庭総合学習ノート 自立・共生・創造』、教育図書『家庭科55デジタル+』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ (1) 自ら考え、判断し、行動する力、生涯をとおして主体的に学び続ける人材を育成します。 (2) 他者や周囲を尊重し、多様な人々と協調して社会に貢献する力を持つ人材を育成します。 (3) 豊かな感性を備え、社会の一員としてのルールやマナーを大切に育む人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ (1) 生涯を通じて学ぶために、基礎的・基本的な知識・技能の習得などの確かな学力の育成に重点をおき、全ての教科・科目において基礎学力の確実な定着を図ります。 (2) 地域と連携しながら、多様な職業や進路について学び体験する機会を設定し、主体的に進路目標を設定して、その実現に向けて粘り強く取り組む活動を推進します。 (3) 計画的なキャリア教育により、生徒一人ひとりが自己の在り方、生き方を考える機会を提供し、望ましい勤労観や職業観と積極的に進路選択する能力を育成します。

2 学習目標

<p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについての基本的知識の習得を目指す。</p> <p>②問題点を見いだして課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を育てる。</p> <p>③学んだ知識や問題の解決策などについて、発表することを通して表現する力を養う。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・行動観察 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ワークシート、レポート課題、パフォーマンス課題、ポートフォリオなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>
<p>内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。</p>		

6 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間	評価方法		
1 学期	6章 食生活をつくる 1 食生活の課題を考える	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。	2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察		
	3 食品の選択と安全		2			
	5 調理の基礎		6			
	2 食事と栄養・食品		5			
	調理実習		4			
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ		1 1			
	1学期期末考査		1			
2 学期	6章 食生活をつくる 2 食事と栄養・食品	・栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について科学的な理解を深める。 ・ライフステージの食生活の特徴や課題を理解する。 ・郷土食や行事食などから日本の食文化の特徴を確認し、世界の食文化にも興味を広げる。	4	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察		
	4 生涯の健康を見通した食事計画		2			
	6 食生活の文化と知恵		2			
	7 これからの食生活		2			
	作品製作		6			
	3章 子どもと共に育つ 1 命を育む		・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもの生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子育てに対する理解を深めるために、子どもの触れ合いや、親や保護者と子どもの関わり方の観察など、体験する。 ・DVD「アクティブに学ぼう」を試聴しながらワークシートに取り組み、主体的・対話的に学びを深める。		2	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察
	2 子どもの育つ力を知る				4	
3 子どもと関わる	2					
4 子どもの触れ合いから学ぶ	2					
5 これからの保育環境	3					
2学期期末考査	1					
3 学期	5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	6	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察		
	2 社会保証の考え方		2			
	3 共に生きる		2			
	10章 持続可能な生活を営む 1 持続可能な社会を目指して	・持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。	3	・ワークシートの提出 ・レポート課題 ・パフォーマンス課題 ・ポートフォリオ ・振り返りシート ・行動観察		
	2 一人一人の力で社会を動かす		2			
	11章 これからの生活を創造する 1 生活をデザインする	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、生活設計ができるようになる。	2			
学年末考査	1					

計 70 時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元ごとに、ワークシートと振り返りシートを提出します。
- ・レポート課題、パフォーマンス課題については、適宜提出します。
- ・作品製作についても、期限厳守で提出します。

8 授業担当者からの一言

家庭科の学習は、家庭生活に必要な知識や技術を身につけることに加えて、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習活動です。環境や社会、経済について総合的に考え、SDGsを実践できる態度を身につけて欲しいと思います。